

策定の趣旨

計画の性格

・団塊世代が後期高齢者となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となる2040年を見据え、介護予防・健康づくり、地域包括ケアシステムの推進、認知症施策の総合的な推進、災害や感染症への対応力強化、持続可能な介護保険制度の構築など、中長期的な観点から必要な施策を推進するために第8期高齢者支援計画を策定する。

・介護保険法に基づく「介護保険事業支援計画」、老人福祉法に基づく「老人福祉計画」及び認知症施策推進大綱を踏まえた「認知症施策推進計画」として定める高齢者の総合計画

【計画期間】令和3年度～令和5年度

・埼玉県5か年計画や埼玉県地域保健医療計画及び市町村介護保険事業計画等との整合性を図る

計画の理念

元気な高齢者の活躍支援

地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの更なる推進

計画の内容			
主	な	課	題
1 高齢者の活躍支援	・生涯にわたって活躍できる多様な居場所と出番を用意する必要	・高齢者の意欲や能力に応じた多様な働き方ができる環境が必要	・生涯を通じた健康の確保が必要
2 高齢者の住み慣れた地域での暮らしを支えるための体制整備	・「支える側」「支えられる側」の関係を超えて、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる包摂的な社会づくりが必要		
3 認知症の人や家族を支える支援			
4 在宅での生活が困難になった高齢者への支援	・安心して介護サービスを受けられる施設整備を進める必要	・施設の災害や感染症対策の体制整備を図る必要	
5 介護を支える人材の不足	・現役世代が減少し、人材の確保が大きな課題	・離職率が高く、安定的な人材の確保定着が困難	
6 介護保険の持続及び適正な事業運営の確保	・介護保険財政の健全性の維持	・適切なサービス提供を受けられる取組が必要	
基	本	目	標
1 高齢者の活躍支援と安心して暮らせる地域社会づくり			
2 地域共生社会実現に向けた地域包括ケアシステムの更なる推進			
3 認知症施策の総合的な推進			
4 介護保険施設等の整備			
5 介護人材の確保・定着・イメージアップ			
6 介護保険の円滑な制度運営			
主	な	取	組
○ シニアの地域デビューの後押しなど、地域社会活動への参加を支援	○ 高齢者が働きやすい環境づくりなどを行うほか、就職支援セミナーや就職相談、職業訓練など、多様な働き方を支援	○ 健康長寿埼玉モデルの普及など、健康寿命の延伸の実現	
○ 高齢者の自立支援、介護予防及び重度化防止の推進	○ 切れ目のない医療と介護サービスの提供体制の構築及び連携の強化	○ 生活支援サービスの体制整備	○ 高齢者の住まいの充実
新 高齢者の孤立防止、包括的な支援体制の整備			
○ 認知症施策の総合的な推進	◇普及啓発・本人発信支援・予防	◇医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	◇若年性認知症等の人への支援
○ 権利擁護の促進	○ 高齢者に対する虐待の防止		
○ 特別養護老人ホーム等の整備	○ 有料老人ホーム等の適正な運営の確保	新 施設の災害及び感染症対策の強化	
○ 介護未経験者の就業支援、離職者の復職支援、多様な人材の参入促進	○ 介護現場における業務の切分け、介護ロボットやICTの導入等による介護職員の負担軽減、ハラスメント対策などによる働きやすい環境整備	○ 介護の魅力PR隊による大学・高校訪問などによる介護のイメージアップ	
○ 保険者機能強化の推進、介護給付適正化の推進、適正な事業運営の確保など			